

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日本酸素ホールディングス株式会社（証券コード:4091）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
債券格付（期限付劣後債）	A-
劣後ローン格付	A-
国内CP格付	J-1

■格付事由

- (1) 国内最大手の産業ガスメーカー。オンサイト供給による大口ユーザーとの固定的な取引など、安定した事業基盤を有する。18年12月に Praxair 社から欧州事業の一部を取得し、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアにわたるグローバル4極体制が構築された。また、グループ全体でのさらなる競争力の強化に向けて20年10月に持株会社体制に移行した。グループの一体性が強いことから、当社の格付にはグループ全体の信用力を反映させている。三菱ケミカルホールディングスの連結子会社（出資比率51%）だが、上場企業として一定の独立性が維持されており、格付には当社自体の信用力を反映させている。
- (2) コロナ禍で需要の落ち込みがあった中でも業績は底堅く推移している。需要先業界や地域の分散効果、ユーザーとの安定的な関係性などを背景に景気変動による影響を受けにくい事業構造となっている。今後は需要回復が進むとみられるほか、これまでに実施してきた成長投資やコストダウンによる効果が発現し、業績は成長軌道への回復が見込まれる。また、欧州ガス事業の買収にかかる投資回収が進んでおり、財務構成は改善基調にある。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 21/3期コア営業利益（IFRS）は830億円（前期比8.1%減）と減益ながら手堅く利益を確保する計画である（21年2月公表時点）。鉄鋼業界向けなどで需要が落ち込んだものの半導体関連業界向けが好調であり、販売量の減少が抑制されたとみられる。22/3期以降は業績改善が進むとJCRはみている。地域ごとにやや濃淡はあるものの国内外ともユーザーの生産が回復基調にあり、販売量が増加すると考えられる。中期的にはグループ内における技術面・営業面などでのシナジー効果も見込まれ、収益力の底上げに寄与すると想定される。
- (4) 21/3期第3四半期末のネットDER（ハイブリッド商品の資本性考慮後）は1.3倍と20/3期末の1.4倍から改善している。安定したキャッシュフロー創出力を背景に、有利子負債の削減および親会社の所有者に帰属する持分の拡充が進んでいる。今後も老朽更新や成長投資などの資金負担は発生するとみられる。ただ、利益の蓄積も進むと想定され、引き続き目標とするネットDER1.0倍以下に向けて財務内容が改善していくと考えられる。

（担当）藤田 剛志・近藤 昭啓

■格付対象

発行体：日本酸素ホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
大陽日酸株式会社第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2016年12月15日	2021年12月15日	0.140%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
大陽日酸株式会社第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2016年12月15日	2026年12月15日	0.390%	A+
大陽日酸株式会社第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年10月16日	2024年10月16日	0.130%	A+
大陽日酸株式会社第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年10月16日	2026年10月16日	0.190%	A+
大陽日酸株式会社第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年10月16日	2029年10月16日	0.300%	A+
大陽日酸株式会社第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	1,000億円	2019年1月29日	2054年1月29日	（注1）	A-
大陽日酸株式会社第2回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	80億円	2019年1月29日	2059年1月29日	（注2）	A-

（注1）発行日の翌日から2024年1月29日までにおいては年1.41%。2024年1月29日の翌日以降においては6ヵ月ユーロ円ライボークに2.40%を加えた値。

（注2）発行日の翌日から2029年1月29日までにおいては年1.87%。2029年1月29日の翌日以降においては6ヵ月ユーロ円ライボークに2.70%を加えた値。

対象	借入額	実行日	弁済期日	利率	格付
2019年3月18日付劣後特約付ローン（トランシェA）	750億円	2019年3月22日	2056年3月22日	（注1）	A-
2019年3月18日付劣後特約付ローン（トランシェB）	670億円	2019年3月22日	2059年3月22日	（注2）	A-

（注1）実行日から2024年3月の利払日までの利息期間においては、基準金利に当初スプレッドを加算した固定金利、2024年3月の利払日から2026年3月の利払日までの利息期間については基準金利に当初スプレッドを加算した変動金利、2026年3月の利払日以降の利息期間については基準金利に当初スプレッドと1%のステップアップ金利を加算した変動金利。

（注2）実行日から2024年3月の利払日までの利息期間においては、基準金利に当初スプレッドを加算した固定金利、2024年3月の利払日から2029年3月の利払日までの利息期間については基準金利に当初スプレッドを加算した変動金利、2029年3月の利払日以降の利息期間については基準金利に当初スプレッドと1%のステップアップ金利を加算した変動金利。

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	600億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021年4月7日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：藤田 剛志
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「化学」（2012年3月26日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）、「親子関係にある子会社の格付け」（2007年12月14日）、「ハイブリッド証券の格付について」（2012年9月10日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 日本酸素ホールディングス株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
なお、本件劣後債および劣後ローンにつき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。ま

た、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。

7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：

- ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
- ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明

8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：

JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。

9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であることを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であることを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル